



平成22年8月吉日

第13回(2010)ゴルフダイジェスト・ジャパンジュニアカップ

『リトルジュニアの部』でキャディを勤める保護者の皆様へ

ゴルフは、野球やサッカーや格闘技などの『対戦型』のゲームではなく、その競技の参加者たちが、ゴルフコースという共通の相手に挑んで、それぞれの“技量”を『競い合う』ゲームです。

同じ組の選手はもちろん、その競技の参加者は、お互いが、敵でも味方でもなく、そのゲームを共に楽しむ“同志”です。

ストロークプレーの同伴競技者は、英語では「フェロー・コンペティター」と言いますが「フェロー」という言葉は、「フレンド(友人)」という言葉よりも、もっと強く、共通の目的・目標を持って集った仲間という意味を持っています。

ゴルフというゲームの他のゲームに無い素晴らしさは、共に競い合うことによって、フレンドシップよりも、もっと強い、フェローシップの絆をゴルファーたちが育むことができることにあります。

そういう“競い合い”のゲームを参加者全員が楽しむためには、ゲームの公正さをできるだけ守り、スムーズなプレー進行をしていく必要があります。そのために、マナーやルールがあるのです。

ゴルフのルールには、1打罰、2打罰、さらには競技失格といった“ペナルティ”がありますが、その目的はゲームの公正さを保つことです。

その行為を黙認したのでは、他のプレーヤーとの公平さが保つことができないので、そういう1人のプレーヤーをゲームに“復帰”させるために“代償”を払ってもらうのです。



……お願いと注意点……

1. 全体的な注意点

『競技』に於けるキャディの役割と責任を知っておいて下さい。

1) 主役はあくまでもプレーヤー、キャディは脇役です。

プレーヤーを自分の操り人形のように、指図しないで下さい。

ゴルフは、子どもたちの自主性を伸ばすためのゲームです。

2) 1組全員のプレーの段取り・手順、進行に気を配り

スムーズなプレー進行をリードするのがキャディの役目です。

自分がついた選手だけしか目に入らず、他の選手(キャディ)のプレーを邪魔したり、プレー進行を遅らせないように留意して下さい。

また、カートには定員のみ乗車し、進行については協力し合って行うようにして下さい。

3) キャディのマナー違反・ルール違反の責任は、プレーヤーが取ることになります。

無用なペナルティをプレーヤーに与えないためにも、マナー、ルールを遵守して下さい。

2. プレー中の注意点

1) スタート前の注意点

・ファーストティでは、同じパーティの子どもたちが、お互いにきちんと、あいさつ・自己紹介をします。そのとき、保護者のキャディ同士も、きちんと、あいさつ・自己紹介をし合うようにして下さい。選手の名前、キャディの名前をしっかりと覚えて、お互い、きちんと名前呼び合うようにして下さい。

(選手は、下の名前、キャディは姓を呼ぶといった区別をつけるといいでしょう)

・特に自分がつくプレーヤーのマーカー(と、そのキャディ)が、誰かをしっかりと確認しておいて下さい。

2) ラウンド中の注意点

・安全の確認、他のプレーヤーの気配りを忘れずにして下さい。

・スロープレーにならないためのポイントは『速めのペース』と『予測』です。

(1) 選手たちの前を歩いて、速めのペースでプレーできるよう、引っ張って行って下さい

(選手の後ろを歩くプロキャディは、いません)

(2) 自分のプレーの番が来たら、すぐにプレーできるように、準備しておくこと。

そのために必要なのが“予測能力”です。



特別ローカルルール

スコアは、それぞれのホールで3倍以上のスコアになった時点でピックアップします。
(ショートホールは9。ミドルホールは12。ロングホールは15です)

バンカーでは、3回ショットをして出ない場合は、1打付加して、バンカーの横にドロップしてプレーを続けます。

選手には、ホールアウトして、ボールをカップから拾い上げたときに、きちんとした声で、そのホールのスコアを同伴競技者(特にマーカ―)に伝えるようにさせて下さい。ただ、その場でスコアをカードに記入することは避け、次のホールでスコアをお互いに(プレーヤー&マーカ―)確認したうえでスコアカードに記入します。

3) プレー終了後の注意点

最終ホールのプレーを終了して、そのグリーンから離れたら、選手たち全員、キャディたち全員、あいさつ、握手を交わして、お互いの健闘をねぎらい合いましょう。

最後に・・・

その競技の参加者全員(及びキャディ)が、その「競技の条件」を知り、守って、初めて公平な競技が成立します。皆様のお子様たち全員が、初めての『リトルジュニア競技』を楽しむために、以上の注意点をスタート前までに再度、目を通して、頭に入れておいて下さい。

上記のようなご注意をしているにも関わらず、毎年必ず自分の子供に指図をし続け、罵声も浴びせる保護者がいることが報告されています。一緒にラウンドする子供や保護者が嫌な思いをして、帰ることになるのを見過ごすことはできません。

プレーヤー、及びキャディが、ルール違反、マナー違反を重ね、競技委員の警告を受けても反省・改善がされなかった場合、競技のスムーズな運営、公平なゲームの成立、他の競技者の権利を守るなどの理由から、競技委員会は、そのプレーヤーを「競技失格」にすることが、ルールで認められています。何も悪くない子供たちを競技失格にはしたくありません。

予め、この点をご了承の上、こういった不幸な事態が起こらないように、ご配慮下さい。